

日本カイロプラクティック師協会(JSC)北陸支部
北陸カイロプラクティック師協会

ほっ カイロ 北-Chiro



Vol. 3 [2009年12月号]

■勉強会のお知らせ

- 富山例会 第2、第4金曜日22時～ 高橋カイロプラクティック全盛堂にて
(但し、平成21年12月は、第1、2金曜日)
- 黒部例会 第3金曜日21時～ みやざき接骨院にて
- 金沢例会 勤労者プラザにて (問合せ:高橋克典)

北-Chiro 編集委員(広報担当)

・高橋登

〒930-0138 富山市呉羽6068-3 高橋接骨院
【電 話】076-434-4611
【Eメール】 ntakahas@poppy.ocn.ne.jp

・藤岡敦己

〒939-8074 富山市大町南台1-1 快癒館
【電 話】076-493-6654
【Eメール】 e-mail@kaiyukan.info

■自己紹介……鳥本孝次郎

はじめまして。

石川県野々市町で接骨院を営んでおります、鳥本孝次郎です。

私とカイロとの出会いは、今から5年ほど前になります。

開業に向け準備をしていた当時、私は整形外科で勤務していました。

整形外科での勉強は5年間でした。自分なりにいろいろ勉強してきたつ

もりだったのですが、開業となると自分の知識や技術に不安になる日も多々ありました。何か足りないと感じていた時に友人が勧めてくれたのが高橋先生のカイロ講座でした。開業とほぼ同時に受講したのでお恥ずかしい話、多少の不安を抱えての船出でした。開業当初は整形外科でやっていたマッサージを中心に治療をしていましたが、講義を受けるたび整形外科では学べなかった様々な知識や技術を習得することが出来、今まで自分がやってきた事とも重ね合わせ徐々にですが患者さんへの病態説明、治療スタイルに変化が生まれたのを感じる事が出来ました。

基礎科2年、臨床科2年を終了した頃には開業当初とは比べものにならないぐらいの自信が付き、様々な患者さんに対応出来るようになったと思います。

カイロ講座を受講出来たことは自分のスキルアップにつながったと、とてもうれしく思います。良い経験をさせて頂いた高橋先生と勧めてくれた友人には心の底から感謝の気持ちしかありません。

ここしばらく講義に参加出来ていませんが、今後ともカイロプラクティックの勉強を継続していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



【インタビュー】

Q1. 出身校は？

北信越柔整専門学校

Q2. 治療院名は？

本町接骨院

Q3. 治療歴は？

平成16年6月開業
(治療歴約5年半)

Q4. 得意技は？

日曜大工

Q5. 好きな歌手・女優は？

ゆづは(6歳の娘:お父さん臭いといわれたが…)

Q6. 最近感動したことは？

小2の息子がそろばんで54242×24を答えたこと。

Q7. 世の中で好きなもの(こと)は？

晩酌(あまり強くない)

Q8. 愛読書は？

金沢情報誌(無料タウン誌)

Q9. 座右の銘は？

大器晩成(でありますように)

Q10. 将来の夢は？

ん〜〜〜家族とゆっくりと過ごす事？



■第12回日本カイロプラクティックセミナーin名古屋に参加して……高橋克典

平成21年11月7日・8日、愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」にて、日本カイロプラクティック師協会(JSC)主催の第12回日本カイロプラクティックセミナーが開催されました。北陸からはJSC会員の中川佳親・藤岡敦己・行沢幸子、それに私の4名、そのほか北陸会員の板尾昌史・小西寛・竹内彰の3名、そして同友会から武本寿男の合計8名の先生に参加いただきました。ありがとうございました。

今回のセミナーは、80名超の参加があり過去最高の賑わい、そして今までにない活気あふれるイベントとなりました。昨今カイロ業界が活力を失ってきていた中、JSCも活気が低迷してきていましたが今年度から始まりました支部活性化セミナー、そして今回の日本カイロセミナーが契機となってJSCが元気ある会へと発展していってくれることを祈りたいものです。

今回のセミナーは「カイロプラクティックの可能性～基礎から応用へ Part2～」というテーマで、基調講演には京都大学高等教育研究開発推進センター教授の小田伸午先生の「力を入れる、力を生かす～身体動作実践の誤解を解く～」、臨床基礎講座には中原裕幸 DC の「続・臨床における検査と治療のポイント」、教育講座には JSC 学術委員長荒木寛志先生の「禁忌症～腱反射の診方を中心に～」、臨床応用講座には JSC 会長の千葉英士先生の「頭蓋からの触診と操作」の4つの講演がありました。

1日目の勉強の終了後、セミナー会場にほど近い北京料理「百楽」名古屋店に処を移し、懇親会が行われ、飲めよ騒げよで時の経つのも忘れ、旧交・新交をあたため、更に2次会と続きJSCの絆がまた少し深まったように思えました。



そしてホテルに戻ってからは、私は藤岡先生と一緒に夜のセミナーで夜遅く(朝早く)まで中原 DC やほか数名の先生方と大いにカイロを語り合いカイロ漬けの有意義で実り多き2日間(前日会議も入れると3日間)を過ごすことができました。



来年は大阪で開催されますが、北陸は全員の方に参加していただきたいものです。皆で一緒に Let's go! Oosaka.



●夜のセミナー報告

前日会議の夜のセミナーで勉強したことを一部紹介します。金曜日の夜、荒木先生の部屋で恒例の荒木地獄が始まった。大阪の田中先生の質問に答え、尾骨の解放について私と荒木先生、そして千葉先生がうまい具合に三人三様の手法で解放した。

私の方法は、バイオメカ的方法で、仙尾関節の可動性を付けてから骨盤隔膜を整え解放した。荒木先生の方法は、尾骨と胸腰椎移行部にコンタクトして、コアリンクのミッドタイトの液の波動を調整することで解放した。

千葉先生の方法も、コアリンクのミッドタイトの液の波動を調整することには違いが無いが肋骨を解放し発火させて治療された。

荒木先生と千葉先生の方法は「クラニオセイクラル・バイオダイナミクス」発行エンタプライズを読まれると解ると思います。

■日本カイロプラクティックセミナーin 名古屋に参加して……小西 寛

こんにちは！！ひまわり接骨院 小西寛です。

石川県加賀市で保険治療と自由診療を行っています。

この名古屋セミナーに参加させていただいて「ありがとう」と心から思いました。こういう世界があることを知りました。

何事にも感わされず自信を持って治療ができるようになり、患者さんから信頼されるようになり、そして治療を心から楽しみ、さらに精神性を高めていける「違い」のある治療家になるための、そして患者さんの「治らないのでは？」という心理的ブロックを取り外すためのお話しや実技セミナーでした。

翌日、治療させていただいた患者さんにゴッドハンドかと思ったと言われ喜ばれました。結果として治療を希望される患者さんが増えていくのです。それがこの2009名古屋セミナーでした。どうもありがとうございました。



■日本カイロプラクティックセミナーin 名古屋に参加して……板尾昌史

私は今までセミナーには何度か参加しましたが、北陸地域以外でのセミナー受講は今回が初めてでした。

私にとって JSC のセミナーはまだまだレベルが高く、せっかく参加しても(内容が高度すぎて)自分の身につくことはそんなにならなろうと思っていましたので、はじめは参加するつもりは余りありませんでした。(その他に仕事を休まなければならないことや、セミナー費やそれにかかる諸費用もばかにならない理由もあって)

しかし、今回セミナーに行った名古屋はこちらからはそう遠い距離ではなく、私はまだ一度も訪れた連れたことがないところだったので、勉強はダメモトで『名古屋へはプチ旅行に行く』というつもりで参加しました。

そして実際にセミナーを受けて思ったことは、こんな私でも聞きやすく理解しやすい内容で、「なるほど、そうか！」と思うことが何度もあり、実際の治療をする際に参考になるお話もたくさんありました。



それと意外に実技の時間が多かったこともありがたかったです。(セミナーは座学がほとんどだと思っていました)

あとこれはセミナーの内容とは関係ありませんが、会場が駅からかなり近かったのは他県からの私には場所が分りやすくてとても助かりましたし、会場の建物がすごく立派できれいだったというのも良かったです。(私のようなミーハーな人間はそれだけでもモチベーションが上がります)

名古屋でのセミナーは思っていたよりもずっと得るものがありましたので、次回大阪のセミナーも極力参加できればと思っています。

■日本カイロプラクティックセミナーin 名古屋に参加して……行沢幸子

今回のセミナーは、本当にありがたい一言に尽きるでした。なぜか楽しかった。久々に楽しかった。

お世話されたスタッフの方たちの一致団結の大きな思いやりが参加した我々の心を和らげ、講師の方たちから皆が1つになったような気がした。

小田伸午先生の講演には、感銘と共感をおぼえ無我夢中になっていた自分にまた楽しかった。そのお話の1つに(こどもは動作の天才だ)これこそ自然体の妙に尽きると思った。小田先生がこのお話をお子孫たちの親たちに知ってもらいたいと言ったおられた気持ちがよくわかった。

赤ちゃんに誰も何も歩き方を指導したわけでもないのに、膝を抜き外旋位で舌を出して歩く。人間の脳って素晴らしいですね。

私の知人が、犬と土手を散歩していたら、足を滑らして川に落ちたそうです。水に流され犬を助けることもできず、どうしようと……。すると犬が、私が、泳ぎを教えていないのに犬掻きで泳いで上がってきたと。何と滑稽な話ですか。教えてもいないのに犬掻きをしたと。犬は、生きていくための脳が刻みこまれているのです。自然に生きていくための神経が体に伝えられていくのです。私は、共感しました。



まさしく、子供の頃は、子供のときにしか伝えられない感覚神経を養うべきなのです。今の子供たちは、大切な自然の能力を生かされないままに大人になっていくような気がします。

私は、子供の頃、よく遊びました。その遊びの中の1つに、どれだけ高いところから飛び降りれるかでした。まともに降りると足がジーンと響いて痛いのです。だから自然にひびかないように体が勝手に工夫して飛んでいるのです。



遊びの中から転んだり、痛い思いをして危険を察知し対応の仕方を体が覚えるのです。大いに子供たちに身体をつかって無我夢中に遊んでほしいと願う。そして無限大にひそんでいる自然の能力をひきだしてほしい。

しかし、子供たちをとりまく環境が、そうさせてくれないのかもしれない。

紙面をおかりして 伝言させてください。

山田さん、るるみちゃんへ

セミナーで河村先生に会いました。ほんの少ししかお話できませんでしたが、すぐに誰だかわからないのです。じーとながめて、わかるまで時間を要しました。

体は、しまり、イタリヤ製のスーツがよく似合っておられ驚きました。

河村先生が、山田さん、るるみちゃん、元気にしておるかと言っておられました。

■日本カイロプラクティックセミナーin名古屋に参加して……竹内 彰

11月7日、8日名古屋の駅前に今年10月にオープンした、「ウイंकあいち」という高層ビルで、JSCのカイロセミナーが行われました。私は8日のみの参加ということで、セミナーを受けて来ました。



今では駅近くまで高速道路が開通しており、思ったより早く名古屋駅に着いてしまい、久振りの名古屋ですが、便利になったなーと実感したものです。外は快晴の秋晴れで、車を近くのパーキングに入れ期待感と不安感を織り交ぜながら how to do を求めて正面のドアをくぐりました。



Am9時から荒木寛志先生の「禁忌症一瞬反射の診方を中心に」という、講座がはじまりました。83pにわたる資料を頂きこれを1p、1p非常に情熱的で熱意を込めて話をされる。レベルの違いを、見せ付けられました。

私個人としましては荒木先生が臨床の場で、どういうふうに関わりを持ち、見せ場を作っているのかを、体験したかったのですが……。

来年度から「KOセミナー」というのが大阪で開催されるそうです。「ここに集まりの先生達はカイロを一生の仕事として腹くくっておられると思います。是非参加をと」皆さん方に訴えられておりました。メイン講師としてご指導される様です。

午後からは、千葉先生の「頭蓋の触診と治療」という講座がはじまりました。二人一組のペアとなって蝶形骨、頬骨、前頭骨、頭頂骨、後頭骨を操作する。金沢での高橋先生のクラニアルの講座とよく似たパターンだったと思います。

しかし、実際に実技を受けてみて、コンタクトポイントや力のかけ具合など色々と反省させられる点も数々ありました。

千葉先生の言われるのは、自分で動かそうと思わない、治そうと思わない。筋力テストをして力が入らなかったら、入るようにしようと思わない。只々丹田に気を込めて、お手伝いだけさせて貰おうという気持ちで治療を行って下さい、というお話でした。

なかなかこういう悟りきった様な治療は私には出来ないことですが、出来る様になれば今回のメインテーマにつながるのだらうと思います。そんなこんなで無事にセミナーも終了し名古屋を後に福井への帰路の道へとたどり着きました。

追伸 今回お忙しい中を企画運営に携わった先生方に感謝申し上げたいと思います。それから少し早いかも知れませんが、良いお年を御迎え下さい。〈文責 竹内彰〉

■日本カイロプラクティックセミナーin名古屋に参加して……中川佳親

「武道の達人と呼ばれる人の極意を理論的に証明」

細い筋力の人が太い筋力を持つ人と腕相撲をしたときに、普通なら筋力が強くて大きな体の

人が勝つと考えますが、立位腕相撲となると形勢が逆転することができるということを、理論的に証明した興味深い講演でした。

私は、三十数年間柔道に携わってきました。技を仕掛けるタイミングなど無意識のうちに体で覚えており、なぜ柔を以って剛を制すのか理論的に考えた事はありませんでした。

しかし、今回この小田先生の講演を聞く事により、それが実践と言葉で理解する事ができました。

柔道では、組み合った時、力(腕力)が同じ相手には自分の方へひきつける事はできませんが、突っ張る事はできます。しかし、技をかけ、勝つためには相手をひきつけなければいけません。では、どうしたら、相手をひきつけられるか？そこで今回の講演の内容が柔道にも通ずる事があることに気がつきました。



つまり、立位腕相撲で筋力の弱い人が勝つテクニックである「力を一瞬抜き、すぐに力を入れる」と同じことが柔道にも生かされているのです。

試合に勝つためには、その方法とテクニックが必要であり、効果的なトレーニングと研究、自分の体形、腕力、脚力、体力、スピード、いろいろなものが組み合わさったものだと思います。

今まで、わからなかった武道の達人と呼ばれる人の技の極意を理論的に証明され筋力と力が勝っている相手に対して、技をもってして勝つ方法を知ることが出来ました。

いままで、子供たちに、「力を入れすぎると技がかからない」と指導してきた事に、なぜ？と聞かれても上手く答えられなかったかもしれません。しかし、この立位腕相撲を実際に教えることによって、子供たちもからだで理解してくれるのではないかと思います。

「力を入れるのではなく、力を生かすという感覚を会得すると、スポーツが楽しくなる」というとおり、自分自身も楽しみ、今後の指導に生かしていきたいです。

■JSC役員・代議員会議報告……藤岡敦己

名古屋セミナーの前日、すなわち平成21年11月6日(金)14:00よりJSC役員と代議員による会議が行われ、北陸からは高橋克典本部理事、藤岡代議員が出席しました。

議題

①アンケートの結果について

全会員188名中47名の回答があり、ほぼ会に対して好意的な内容でした。

全ての結果と役員を回答を次回の会報(WITH YOU)と共に送付します。

②今年度の役員会議報告

毎月、スカイプを利用して役員会議が行われています。内容としては、各委員会の人選、活動内容・進捗状況について。各地区の活動目標、サポートについて。支部活性化の進捗状況。取入源、広告について。顧問弁護士について。



日本カイロセミナーについて。提携団体について。ホームページリニューアルについて。系統教育セミナーについて。など

③平成22年度の日本カイロセミナーについて

大阪で行われます。



④会員資格について

正・準会員の枠を無くそうという案がありましたが、まったくカイロの事を知らない人を正会員と同等とするのには問題があるということで、現状のままとなります。

正会員のメリットとして、ホームページ上で紹介する案が今後審議されます。

⑤KO(基礎カイロ応用)セミナーについて

系統教育と言うには時間が短すぎる(16h×4回×4年=256時間)ため、基礎カイロ応用セミナーとする。

参加資格は全会員を対象とするが、初歩的なことは各支部で学ぶ事が求められる。

質問をやすく、親睦を深め、本当に大切な事を身に付けるには、寝食を共にする事が大切ということから、親睦会・宿泊を伴ったセミナーとする。

会費はセミナー・1泊食事・親睦会込みで25,000円前後の予定。

主任講師:荒木寛志先生 準主任講師:田中勝士先生。

応援講師:高橋克典先生、阿知波正人先生、南部徹先生。

場所は大阪。年に4回(土日)×4年間行う。



サニーストンホテル(予定)

⑦JSCホームページについて

あか抜けたデザイン、それでいて軽くない。一般患者さんからはしっかりした会、医療従事者からは入会したいと思えるようなホームページにリニューアルする。

⑧NCAとの連携

NCAと連携して基礎教育、応用教育ができないか協議する。

■編集後記

私の記憶が確かならば・・・北陸からJSC会員外の先生が日本カイロセミナーに参加されるのは初めての事です。それも4名のJSC会員外の先生方が参加され、前述の感想にもある通り、たいへん好評でした。また、これを機にJSC本部会員になられる先生もいらっしゃいます。

JSC本部会員になると年に10回の会報(WITH YOU)が送られてきます。また、メーリングリスト、メールによるセミナー(無料)や、色々な先生に何度でも気兼ねなく質問できる質問コーナー(有料)もあります。何と言っても、「あこがれの、素晴らしい先生方と交流できる」というのが、一番の魅力ではないでしょうか。

親睦会の席で、某有名カイロ団体にインストラクターをしていたという先生がおっしゃっていました。「本当にJSCは業界でトップだと思いますよ。これだけの技術を惜しみなく出す団体なんて他に知らない」と。すばらしい先輩先生・仲間にご感謝します(合掌)……(ふ)